

銀幕の詩

YAMASATO NO UTA 2

町最大のピンチを 一発逆転ビックチャンスに変える！
小さな山里に巻き起こる痛快人情コメディ



松岡智子

柴田由美子

一明一人

主演：柴田由美子 松岡智子 一明一人

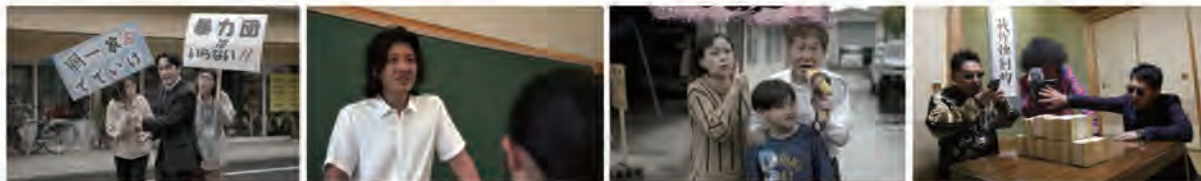
出演：とみずみほ 芳野友美 澤田敏行 サニー・フランシス くっすんガレージ 他

ナレーション：島本須美 主題歌：銀幕の詩(ワタナベフラワー) テーマ曲：KAZZ&柿原千春「由良川」「加古川」

監督：近兼拓史

© 2022 映画「銀幕の詩」製作委員会 / 制作：コドルニス

ginmakunouta.com



STORY ～あらすじ～

兵庫県の山間の町、丹波市。ある日のどかな山里で大事件が発生！

市役所すぐ側の商店街に暴力団事務所ができてしまった！大慌てする人々だが、力を合わせた住民運動で、暴力団の立ち退きに成功する。しかし、喜んだのもつかの間、今度は、元暴力団事務所という使いみちのない建物、負の遺産を背負い込むことになってしまった。丹波市役所総合政策課の一明係長は、この難問担当に抜擢され、市民とともに問題解決に奔走する。街が賑わっていた当時の資料を精査するうちに、丹波市にはかつて 10 件もの映画館が在り、大いに人々を楽しませていたことを知る。一明は、起死回生の策として、元組事務所を映画館に変えるという「丹波市映画館復活プロジェクト」を提案。しかし 50 年間映画館のなかった街には、映画館を開館させるノウハウも人材もない。果たしてプロジェクトは無事成功し、映画館をオープンさせることができるのか…。

映画を超えた現実に感動！

2018 年全国公開された映画「恐竜の詩」。その撮影中、今回の映画の舞台となった、元暴力団組事務所だったという「成松第三公民館」の存在を知りました。そこで聞いたのは、「過疎の町に3つも公民館は要らないよね」という街の人々が持て余した負の遺産への悩みでした。「ならば映画館にしたらどうですか？」という何気ない僕の一言でスタートした「丹波市映画館復活プロジェクト」。映画監督の性か、つい「皆が困っている場所が、皆が喜ぶ場所に変われれば大団円ドラマ」と思ってプロジェクトを引き受けてしまいました。しかし、その後世の中はコロナ禍で激変。私達の想像を遥かに超える難題が次々と起こり、資金難でも「もうダメかも」と思うことも一度や二度ではありませんでした。しかし、その度、それを乗り越える温かい奇跡が何度も起こりました。丹波市という「人情あふれる場所」だからこそ復活した手作り映画館。全国に誇れる「善意の奇跡の連鎖！」を、ぜひお楽しみ下さい。監督 近兼拓史

主 演 柴田由美子 松岡智子 一明一人

出 演 とみずみほ 芳野友美 澤田敏行 サニー・フランシス くっずんガレージ
KAZZ きくり 近田球丸 ほか

特別出演 原田年晴(ラジオ大阪) ナレーション 島本須美

主題歌 ワタナベフラワー「銀幕の詩」

テーマ曲 KAZZ&柿原千春「加古川」「由良川」

後援：株式会社サンテレビジョン 大阪放送株式会社(ラジオ大阪) 丹波新聞 丹波市 丹波市商工会 丹波市教育委員会
丹波市観光協会 丹波青年会議所 ほか

協賛：株式会社細見工務店 株式会社デンテックス 株式会社山善 日進工具株式会社
ライオン株式会社 一般社団法人 ジェネリック家電推進委員会 ほか

監督・脚本 近兼拓史

プロデューサー 荒谷やよい

著作製作 映画「銀幕の詩」製作委員会 制作 コドルニス 配給 アルミード

映画「銀幕の詩」完成披露

地元先行プレミア上映会開催！

2022年9月30日(金) 18時開演 (予約優先 一般 3000円 / 中学生以下 1600円)

会場：春日文化ホール 〒669-4192 兵庫県丹波市春日町黒井 496 番地 2

(JR 福知山線黒井駅徒歩 3 分)

お問い合わせ：エビスシネマ。0795-88-5910 e-mail : info@ebisucinema.com